



小林小だより

発行日 令和7年 4月28日(月)
 発行者 校長 赤崎 好次

本年度もどうぞよろしくお願いします。

朝夕は上着が必要な肌寒い日もありますが、日中は汗ばむような陽気の日もあり、季節は次第に春から新緑の季節へ変化しているようです。

さて、令和7年度が始まり3週間経ちました。子どもたちは、それぞれ進級し、新しい教室で、新しい担任の先生のもと、元気に学校生活を送っております。

本年度は、児童数471名、教職員51名でのスタートとなりました。

長い歴史と素晴らしい伝統をもつ小林小学校がさらにより良い学校となるよう、職員一同、誠心誠意努めてまいります。本年度も保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

入学おめでとう！



4月11日(金)に88名の1年生が入学してきました。

小学校での生活が始まり2週間経ちましたが、徐々に慣れてきているようです。朝もお兄さん・お姉さんたちと一緒に自分の足で歩いて元気に登校しています。授業中も元気よく発表したり、給食ももりもり食べたりと元気いっぱい過ごしています。

6年間の中でも、最も大きな成長を見せる1年生。さらに学校生活に慣れ、心も体も大きく成長してほしいです。

個人面談へのご協力ありがとうございました

本年度より、家庭訪問ではなく、学校での個人面談とさせていただきます。保護者の皆様には、大変ご多用の中、学校までお越しいただき、ありがとうございました。



限られた時間でしたが、担任との面談はいかがだったでしょうか。保護者の皆様からいただいた情報は、これからの学校での指導に生かしていきたいと思っております。今後も気になることや困ったことがありましたら、いつでもご連絡ください。

本年度の学校経営について

1 本校の教育目標

自ら学び、自ら思いやり、自らきたえる子どもの育成

※小中一貫目標です。「自ら」がキーワードです。

2 育てたい力と実現のための方策

最も大切なことは、子どもの命を守ること、そして、学校が子どもたちにとって安全・安心な場所であることです。このことを最優先事項としながら、以下の点についても取り組んでいきます。

① 主体的な学びと確かな学力

- 分かる・できる授業による学力向上
- 「思考力・判断力・表現力」の向上
- 家庭学習と読書活動の充実
- 特別支援教育の充実

※ 何といっても授業が大切です。「分かる・できる」授業改善を目指します。

② 互いを認めよい行いを実行する力

- 自尊感情と学校愛を育てる主体的活動
- 基本的生活習慣の重点的育成
- 問題行動、いじめ、不登校への対応
- 道徳教育、人権教育の充実

※ 子ども達が「自ら考える」機会をできるだけ多く持ちます。また、家庭との連携によるメディアコントロールを考えます。

③ 体力向上と安全・健康への意識

- 運動を好み楽しむための工夫
- 立腰と鉛筆・箸の持ち方の指導徹底
- 健康的な生活につながる習慣づくり
- 自ら危険を回避する意識の向上

※ 昼休みの運動・遊びを積極的に奨励します。むし歯の治療にもご協力ください

③ 望ましい食習慣と食への感謝の心

- 家庭、地域と連携した指導の充実
- 自らの「食」を意識する活動の充実
- 給食指導と食事マナーの徹底

※ 栄養教諭を中心とした食への関心を高める活動を積極的に推進します。

★ 上記の他、まちづくり協議会や地域の方々との連携による豊かな体験活動や幼保小中との連携による一貫教育の推進も行います。

クールビズの実施について

5月1日(木)から10月31日(金)は「クールビズ」期間とし原則として勤務時間中はネクタイ上着を不着用とします。